



干 支 大 絵 馬 (茂本ヒデキチ氏奉納)

護 国

御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております  
御祭神は四万九千七百二十七柱です。

建國記念日祭挨拶

宮 司 額 田 照 彦

本日、皇紀二千六百七十七年建國記念日祭に際し、御皇室の限らない弥栄、更には我が国の繁栄と、世界平和をご祈念申し上げます。ご参列の皆様方・崇敬者の皆様方には、日頃より英霊の慰霊顕彰・神社の護持運営に、格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

際情勢や経済・外交状況等激動の兆しが見え始めております。

さて、今年一月には、アメリカを第一とする、政策への転換を表明する、トランプ政権が誕生し、環太平洋連携協定（TPP）の、離脱表明や、経済・外交政策において著しい変動の兆しが表れ、また、昨年イギリスの欧州連合（EU）離脱でゆれた欧州は、イタリアでは政策の停滞の打開を目した、憲法改正の国民投票が、否決されるなど、先が見通せない国際状況にあり、また宗教的な対立に根ざしたテロの脅威や懸念は深まっており、国

我が国では、昨年八月八日天皇陛下下の「お言葉」を拝して政府の「譲位」についての対応が進んでいる中、国際情勢が混沌とする現在、国民を守るために必要な事は、国家の安定であり、その国家の安定には政治的安定が必要であり、その政治的安定には日本国の象徴である皇室の弥栄と安定したご繁栄が不可欠であります。

昨年、国連の女子差別撤廃委員会が、男系男子の皇位継承を定めた皇室典範の規定が、女性差別にあたるとして、その見直しを勧告する文言が盛り込まれていたとの報道がありました。これは全くの見当違いであり、日本の皇室に無知な見解であります。

ご承知の通り、日本の天皇は初代神武天皇

以来、一二五代、二六七七年、しかも唯一「万世二系」で続いており、世界各国どこにも存在しない、日本国のみ歴史・伝統であります。

世界各国でも建国や独立の記念日を大切な祝日として定め、国の発展に尽して来た人々の努力やその歴史を偲んで、盛大な祝賀行事が行なわれております。我が国においてもこれら日本古来の歴史・伝統・文化を未来永劫後世に伝え、国や郷土の発展に尽して来た先人の努力や献身に対して報恩感謝の誠を捧げて伝えて行く事が、日本国民の責務であり国家と国民の繁栄と安寧にとって必要な事と思っております。

当神社におきましても昨年九月に竣功しました御幸殿の一階に平成二十九年途中の開設設置を目的に、祈念史料室の開設準備計画作業中であります。

この史料室が国や郷土の為に尽されたご祭神のご遺徳や苦難の歴史を後世に伝え次代に継承して行く為の一助の施設となればと願っております。

本日、ご参列の皆様方にも、日本国のため、また英霊顕彰・護國神社の護持運営のため、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と、御多幸を衷心よりお祈り申し上げます、本日の御挨拶に代えさせて頂きます。

## 第十東予丸 (その一)

愛媛縣護國神社崇敬会

会長 愛原 章

戦没者遺族相談員をしている関係で、平成二十七年三月、石垣島のG氏から「父を探して欲しい」という電話を受けた。

聞いてみると、「父が乗船した船が機雷に触れて、昭和二十年十一月六日に瀬戸内海で沈んだ。母が病床で正一と呼んでいるので、神野正一だと思う。是非調べて貰えないか。」という相談であった。

それで色々話していると、母は父死亡の電報を受け取り、G氏を妊娠している体で松山までは辿り着いたが、父の家を探し当てる事が出来ずに帰ったこと、父とは国に帰って籍など入れて戻ってくる約束だったこと、そして我が家は、大きな水害で父の資料等全て失ったことで、残念だがそのまま今に至ったこと等が分かった。

それで芳名録を作っていたので、沈んだ船は第十東予丸で、機雷ではなく転覆であることと、沈んだ場所は伯方島木浦港沖だという事を伝え、神野氏の住所等を調べてみる旨伝えて電話を切った。

そこで作成中の芳名録を調べ、松前町、伊予市、砥部町等の名簿も繰ってみたが見当た

らず、神野姓を考えると東予方面だと判断し、東温市の図書館を訪ねることにしてはいたが、たまたまだが、県遺族会の書棚に川内町の戦没者名簿があるのを見付けた。

流石に元県遺族会の佐伯会長である。写真に家計図まで書き込んだ立派な名簿の中に、探していた正一氏(三男)の名前があった。早速これをコピーして石垣島のG氏のもとに送ったのは言うまでもない。

そして四月、G氏からは伯方町木浦にある禅興寺から届いた、「温泉郡川内村大字則ノ



第十東予丸

内神野正一」と書かれた名簿のコピーが送られて来た。両方が完全に一致したことになり、十一月三日に行われる予定の禅興寺での慰霊祭には、日程を調整して松山へ行くからとの知らせが届いた。

十一月二日に松山に行くので旅館で会いたいと連絡があり、家族ぐるみで夕食を共にし、三日は空港からレンタカーに乗って来た家族五人を、息子の車で案内することにして、先ず護國神社へ、それから伯方町の禅興寺へ、五十人位(町の方が多かった)集まってご住職による慰霊祭が行われ、語り部(沈んだ船に乗っていた方)による当時の状況を聞いて、港から住職と共に沈没現場へ向かい、花を投げ入れて海上での慰霊祭を終えた。

すぐに松山へ帰って川内へ移動し、神野家母屋の近くに昔住んで居た友達を途中で拾って、その友達の案内で則ノ内の母屋(長男の子と孫は死亡)を訪ね、孫の奥さんの案内で正一氏の墓参りを済ませた。

近くに、お父さんを通っていた小学校があり、これを見てもらって、お父さんの兄妹の中で一番末の叔母(三女)さんが健在だったので、その家からの迎えに後を託し、長い一日が終わった。

翌日は松山空港で見送ったが、「これから本籍は、愛媛県と書かない」と言いながら別れたG氏の笑顔が忘れられない。

叔母さん(事前に電話番号は教えていた)には、「正一にそっくりだ」と言って歓待されたようで、個人情報が出ヌンされる時代なので随分気を使ったが、気持ちよく別れることが出来たので安心した。病床のお母さんにも、いい土産話が出来たのではないかと思っている。

一番心配していた神野家母屋等が、原田、白石の両氏に助けももらって、非常にスムーズに運んだことを感謝し、事故の様子は次回に譲ることにしたい。

## 民主主義の行方

愛媛県遺族会

会長 関 谷 勝 嗣



ない。これほど好き勝手に暴言を吐く大統領は見ることがない。

そこで、世界の人々が心配するのは、今日まで宮々と築かれてきた自由で活気に満ちた民主主義体制が崩れるのではないかということである。

答えは否である。ただ、今までのようにアメリカ主導の世界構造ではなくなる。あれよあれよと言っている間に共和党の候補者になったトランプだが、マスコミも世論も結局は民主党のクリントンが勝つだろうと見ていた。

ところが、投票総数ではクリントンが上回ったが、代議員の数でトランプが勝利した。

トランプが勝利した理由は、いくつがあるが、第一に雇用の問題だろう。アメリカは移民の国である。しかしグローバルゼーション(国際化)の名のもとに、工場は賃金の安い海外に移転してしまい、避難者を含めた移民に仕事を奪われ、かつて栄えた工場地帯は失業者で溢れている。

併せて世界各国で避難移民によるテロが多発し、社会秩序を乱し社会不安を煽っている。トランプは、「アメリカ第一主義」「メキシコとの国境に壁を作り違法移民を阻止」「再び国内の雇用を力強いものにする」と訴え、不平不満分子を引き付けた。

しかし、大部分の人が、トランプは大統領としての品格、人格に欠けているのでクリン

今や、鳥の鳴かない日はあっても、アメリカ大統領トランプの名前が報じられない日は

トンが勝利すると思っていた。ところが、表には出ない不平不満を抱いている人々が予想以上に地下に沈殿していた。それほどアメリカが病んでいたのである。

民主的、公正な選挙制度の元で当選したトランプを「我々の大統領ではない」とデモを行うのはおかしい話である。

さて、トランプ大統領の登場で、日本の政治経済がどうなるかが一番重要な問題になってきた。

一言で言えば、今までのように軍事安全面でアメリカに頼り、アメリカの翼の元でぬくぬくと過ごすことはできない。

アメリカの本音は、今日まで日米安保条約で日本を守ってきた。もう日本も立派に成長したのだから、自分でできることは自分でやらしてもらいたいということであろう。

甘い、きれいごとばかり言う評論家の意見を聞いてみたいものである。

さて、最後になりましたが、皆さんの協力で護國神社「御幸殿」が立派に竣功し、今年のお正月は晴れやかな参拝客が多かったように見受けました。

今後とも愛媛県遺族会は、四万九千七百余柱の御霊の安らかなお眠りと国家の安泰を念じて活動を続けてまいります。

平成二十八年年度

### 第六十三回 新穀献納祭

平成二十八年年度(第六十三回)新穀献納祭は一月十一日(水)午前十一時より、愛媛縣護國神社で厳かに執り行われた。

愛媛県郷友会永井会長が祭主となり、ご来賓を始め遠く県下から単位会長、役員等四十数名が参列した。県下会員、県民のご協力により抛出されたお初穂料・新穀を奉納し、英霊を御慰めした。

今年度は前年度を上回る集荷を達成することができ、会員皆様方のご尽力に感謝申し上げます。

### 祭 文

本日、愛媛縣護國神社の大前において、ご来賓及び郷友会員多数ご参列のもと第六十三回新穀献納祭が、厳かに執り行われるにあたり郷友会を代表して謹んで祭文を奏上いたします。

この献穀運動は、幾多の事変、特に大東亞戦争において、戦禍に倒れ、あるいは、遠い異郷の地に亡くなられた郷土の英霊の皆様方に収穫された新米を献じることから日本郷友連盟の発足する三年前の昭和二十八年に始まりました。

今日の豊かな生活を享受できるのは尊い英霊皆様方の犠牲の上であり、感謝の誠を捧げる慰霊顕彰の伝統行事として会員の皆様の協力を得ながら続けて参りましたが今では定着されております。

今後とも永久不滅の愛のある愛媛県の誇れる伝統行事として継続実施する決意を新にしております。

しかし戦後七十年以上となり、会員の高齢化による活動の衰退、減少が著しく、戦争を知らない世代七十才以下の国民が八割以上を占めている今日、日本の将来を懸念しております。

私どももまた先輩として語り継ぐべき重要な継承存続の責務があり、軍歴がなくとも誰でもが入会できる郷友会であり日本郷友連盟の理念でもあります。

自分の国は自分で守るという国防意識の高揚、英霊・殉職自衛官の慰霊顕彰、栄光ある歴史及び伝統文化を継承するという三点の具現実行を通して組織の活性維持に努めております。

今後におきましても私どもは、御祭神四万九千七百二十七柱の方々のご加護を戴きながら、一四〇万県民のやさしさとパワーを結集し、豊かで住みやすい郷土造りに専念努力する所存であります。

又、自衛隊に関しては、最近の近隣諸国の

動静は予断許しがたき不穩な行動が多く憂慮される中、益々のご奮闘を期待すると共に、その活動に対し限りなく最大限の支援を続けて参ります。  
終わりになりましたが、在天のご英靈、どうか御遺族の皆様をはじめ県民全てにご加護を賜り、安らかにお鎮まり下さいますよう祈念し祭文と致します。

平成二十九年一月十一日

愛媛県郷友会

会長 永井之保

『戦友団体等による慰霊祭』

平成二十八年

十月 十五日 公益社団法人 愛媛県隊友会

十月 二十九日 愛媛 偕行石 鉄会  
戦没者戦争裁判殉国者

『遺族会等による慰霊祭』

平成二十八年

十月 八日 今治市関前支部遺族会

十一月二十五日 愛南町遺族会城辺支部

平成二十九年

三月 四日 西予市遺族会宇和支部

三月 四日 西予市遺族会城川支部

三月 四日 西条市小松地区遺族会

三月 十五日 今治市上浦町遺族会

三月 二十三日 愛南町遺族会西海支部

三月 二十四日 西予市遺族会三瓶支部

三月 二十八日 愛南町遺族会一本松支部

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、「留魂」

比島戦 陸軍特別特攻隊隊長鎮魂の賦

—陸軍航空五十六期生戦いと慰霊の軌跡—

著 松江護國神社 禰宜 工藤 智恵

監修 陸軍航空五十六期紫鷗会代表

梅田 春雄

松江市殿町 松江護國神社 様

一、皇學館大學研究会推進センター紀要第三号

三重県伊勢市神田久志本町

皇學館大學研究開発推進センター様

平成二十八年(十月)秋季慰霊大祭奉仕者

(敬称略)

遺族会代表献供奉仕者

女性 部 西宇和郡伊方町川之浜 是澤 多枝子

遺 児 西宇和郡伊方町大江 佐々木 利王

献茶菓奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

上岡宗里社中 松山市高岡町 中島 宗薫

安永宗恒社中 松山市古川南 有光 優子

献花奉仕者(愛媛県華道会)

聴 春 流 松山市一番町 中村 佳乃

聴 春 流 松山市二番町 竹本 ゆりあ

敬神婦人会代表献供奉仕者(愛媛縣護國神社敬神婦人会)

伊予市遺族会 伊予市市場 仲田 和美

伊予市遺族会 伊予市双海町上灘 古田 昌子

幣殿献花奉仕者(華道家元池坊松山支部)

松山市勝山町 友澤 通子

松山市室町 玉井 勝子

献吟奉仕者(愛媛県吟詠詠詩舞総連盟)

九日(靈聖奉安祭) 愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 藤岡 江心

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 大窪 柳星

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 日野 鳳昇

尺八献奉者 尺八献奉者 榎野 嵐将山

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 十日(大祭) 榎野 嵐将山

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 寺尾 静咲

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 大西 溪悠

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 尺八献奉者 松野 竹娥

愛媛県吟詠詠詩舞総連盟 尺八献奉者 榎野 嵐将山

献謡奉仕者(愛媛縣護國神社献謡会)

九日(靈聖奉安祭) 「忠靈」 村井安夫会長以下有志一同

正式参拝

☆平成二十八年十月二十三日

広島府中市遺族会

会長 高橋 伸吉様

計二十八名

☆平成二十八年十月三十一日

愛媛県遺族会理事会

会長 関谷 勝嗣様

計三十名

☆平成二十八年十一月九日

平成二十八年年度後継者慰霊巡拝

参加者及び女性部と英霊研修

会長 関谷 勝嗣様

計百八十名

☆平成二十八年十二月三日

松山市遺族会

会長 愛原 章様

計三十八名

☆平成二十八年十二月十日

公益財団法人新教育者連盟

愛媛県支部副支部長

三浦 夏南様

計二名

☆平成二十八年十二月十七日

勝山柔道会様

計四十五名



☆平成二十九年一月十九日

特別養護老人ホーム久谷荘

双葉友の会

会長 松本 美枝子様

計三十六名

☆平成二十九年一月十九日

愛媛県神道青年会

会長 十亀 雅史様

計六名

☆平成二十九年一月二十一日

ボイスカウト松山地区

ベンチャー隊

鳥越 文範様

計七名

☆平成二十九年二月一日

特別養護老人ホーム久谷荘

渡部 重喜様

計二十四名

☆平成二十九年二月十四日

愛媛県遺族会 沖繩反省会

会長 関谷 勝嗣様

計十六名

☆平成二十九年二月二十四日

松山市遺族会役員会

会長 愛原 章様

計四十名

☆平成二十九年三月四日

愛媛県遺族会四国中央支部

支部長 石川 秀光様

計八十名



☆平成二十九年三月三十日

愛媛県遺族会理事会

会長 関谷 勝嗣様

計二十名